

=====

\*\* 日本学術会議ニュース・メール \*\* No.778\* 2021/12/10

=====

1. 【開催案内】国際シンポジウム

「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2021  
『ネットゼロ・エミッション —達成に向けた学術の役割—』」

2. 【開催案内】日本学術会議公開シンポジウム

「カーボンニュートラルに向けた情報学の役割」

■ -----

【開催案内】国際シンポジウム

「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2021  
『ネットゼロ・エミッション —達成に向けた学術の役割—』」

----- ■

2022年1月31日、2月1日に、国際シンポジウム「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2021 『ネットゼロ・エミッション—達成に向けた学術の役割—』」をオンラインで開催いたします。

ホームページの情報も、ぜひご覧ください。

(日) <https://www.sci.go.jp/ja/int/kaisai/jizoku2021/ja/index.html>

(英) <https://www.sci.go.jp/ja/int/kaisai/jizoku2021/index.html>

(参加登録) [https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_nHbgNKeCTSQ5UjWwbf16w](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_nHbgNKeCTSQ5UjWwbf16w)

【日時】2022年1月31日(月)16:00—18:00

2022年2月1日(火)20:00—22:00 (共に日本時刻)

【主催】日本学術会議

【後援】国立研究開発法人国立環境研究所、Future Earth 国際事務局日本ハブ

【開催趣旨】

気候変動に対する危機意識が国際的に高まりを見せる中、2021年はネットゼロに向けた目標設定と、そこに至る具体的な対策が広く検討された1年でした。本会議では、国内外の多様な学問分野の専門家に参加を呼び掛け、SDGs で示された17のゴールと気候変動に関する最新の動向を踏まえつつ、世界がネットゼロ達成を実現するために、学術界がいかなる貢献をすべきか議論します。本会議では「アジアでのネットゼロ・エミッション」、および「気候変動をめぐるシナジーとトレードオフ」の二つを取り上げ、これらの論点における学術の役割を分野横断的に模索します。

【使用言語】英語・日本語(同時通訳あり)

【定員】1000名程度

※本件問い合わせ先

持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2021 運営事務局

株式会社 日本旅行 公務法人営業部

Tel:03-5402-6331 fax:03-3437-3955

E-mail: [stst@nta.co.jp](mailto:stst@nta.co.jp)

---

【開催案内】日本学術会議公開シンポジウム

「カーボンニュートラルに向けた情報学の役割」

---

【日時】2022年1月12日(水)13:00～17:00

【開催地】オンライン開催、参加無料

【主催】日本学術会議情報学委員会

【後援】(予定)国立情報学研究所、情報通信研究機構、情報処理学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会、大学ICT推進協議会(AXIES)

【開催趣旨】

政府は2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、益々深刻さを増す気候変動(地球温暖化)への積極的な対応を成長の機会と捉えて、さまざまな対応策を打ち出してきている。情報技術はこれまで日々の生活や産業に多くのイノベーションをもたらして来た。カーボンニュートラルへの対応においても情報技術の活用は不可欠である。本シンポジウムでは、「カーボンニュートラルに向けた情報学の役割」というテーマで、カーボンニュートラルと関連する情報学分野の最近の研究動向に関連した講演とパネル討論を行い、情報学の発展を促す施策からそのグローバルな社会的インパクトまでさまざまな話題に関する議論を行う。

第1部では、文部科学省、米国、中国から招待講演者をお招きし、情報学分野の最近の研究戦略に関して講演をいただき、2022年の科学政策の戦略的なポイントは何か、メッセージを聞く貴重な機会となる。

第2部では、カーボンニュートラルの実現に向けた国内外の取り組み、経済面での取り組みと情報技術活用の現状や期待について紹介する。最後にさまざまな分野でのカーボンニュートラルの実現にむけた現状とその展開について論じる。

【次第】

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/318-s-0112.html>

【参加費】無料

【申込み】

要・事前申し込み。以下の URL からお申し込みください。

(申し込み後に参加方法をご案内します。)

<https://forms.gle/oJpyFUmUaypS9S1E7>

\*\*\*\*\*

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

\*\*\*\*\*

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【日本学術会議ウェブサイトの常時暗号化について】

日本学術会議ウェブサイトは 2021 年 10 月 1 日より常時暗号化通信 (TLS1.2) 対応いたします。

新 URL:<https://www.scj.go.jp>

日本学術会議ウェブサイトへのリンク、お気に入り等設定している場合は、お手数ですが「https」への修正をお願いいたします。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行: 日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34